

海で遊ぶときは お子様へ手の届く場所で！ 目を離さないで！

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その半数以上が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

海水浴など、海辺での活動は、子供から目を離さないことはもちろん、子供へ危険が迫った時にすぐに助けられる場所で、安全に十分配慮してください。

遊泳中の事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」を必ず利用してください。

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があります。悪天候では予定を変更する勇気も必要です。子供との約束もあるかもしれませんが、命には代えられません。

●お子様を傍で見守り、無謀な行動はさせない

溺れるときは一瞬、音もなく静かに沈みます。子供のピンチを見逃さず、笑顔で帰宅してください。準備運動、適度な休憩も大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は118番です。



海上保安庁ウォーターセーフティガイド



北海道教育委員会
第一管区海上保安本部